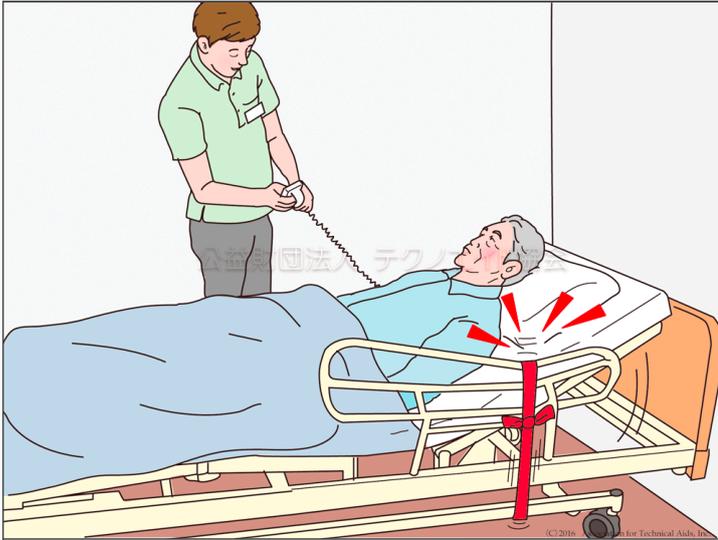


Case : 321

ベッド柵を外してしまわぬよう紐でしばっていたが、ベッドのベースフレームとしばってしまい、高さ調整の際に柵が破損しそうになる

場面の説明

ベッド柵を外してしまわぬよう紐でしばっていたが、ベッドのベースフレームとしばってしまい、高さ調整の際に柵が破損しそうになった



利用シーン	 起居・就寝  リモコン操作
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード	181227 (ベッド用サイドレール, ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

認知機能の低下やせん妄状態のある人等は、ベッド柵を自ら外し、危険な行動を取る場合があります、それを予防するためにベッド柵を紐で縛っていたことが原因です。

この場合、ベッドのベースフレームに縛っていたために柵が破損しそうでしたが、ベッドフレームであれば予防できました。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ベッド柵をベルトで固定していたことを忘れた
- モノ：ベッド柵をベースフレームに固定していた
- モノ：引き上げれば簡単に外せる構造のベッド柵だった